別紙様式第1

平成　　年度学校給食用牛乳供給希望量

（都道府県名　　）

地域区分	供給区分	学校区分	1人1日当たり供給量	供給校数	供給人員	第1学期		第2学期		第3学期		年度合計		備考
						供給日数	供給量	供給日数	供給量	供給日数	供給量	供給日数	供給量	
一般校	牛乳	小学校	cc	校	人	日	本	日	本	日	本	日	本	
		中学校												
		夜間高校												
		その他校												
		計												
	混合乳	小学校	（　）											
		中学校	（　）											
		夜間高校	（　）											
		その他校	（　）											
		計	（　）											
	合計	小学校												
		中学校												
		夜間高校												
		その他校												
		計												

へき地校	牛乳	小学校												
		中学校												
		夜間高校												
		その他校												
		計												
	混合乳	小学校	( )											
		中学校	( )											
		夜間高校	( )											
		その他校	( )											
		計	( )											
	合計	小学校												
		中学校												
		夜間高校												
		その他校												
		計												
総合計		小学校												(　　1)
		中学校												(　　1)
		夜間高校												(　　1)
		その他校												(　　1)

	計												(　　1)

(注)

① 本表は、当該県に該当する供給形態についてのみ作成する。

② 「供給形態」の欄は、幼児、児童及び生徒が飲用する段階における形態によつて区分する。

③ 「学校区分」の欄中「その他校」には、盲学校、聾学校及び養護学校について記入する。

④ 「1人1日当たり供給量」の欄は、1人1日当たり供給量が異なるごとに区分して記入するものとする。なお、混合乳形態で供給する場合は混合乳中に含まれる牛乳の量を記入し、1人1日当たり混合乳の供給量を(　)で併記する。

⑤ 「その他校」で幼稚部と高等部等とで1人1日当たり供給量が異なる場合は、供給人員、供給校数等をそれぞれに分けて記入する。ただし、供給校数については、重複して算入されないように、1人1日当たり供給量の多い方を(　)で記入する。

⑥ 「供給校数」については、分校は1校とみなす。

⑦ 「供給日数」は、1人1日当たり供給量の区分ごとに「供給量」を「1人1日当たり供給量」×「供給人員」で除して得た日数を記入するものとする。なお、1人1日当たり供給量の異なるものがある場合の供給日数の計値は、加重平均日数を記入する。

⑧ 「供給量」は、200cc換算本数をもつて記入するものとし、混合乳についての供給量は、混合乳中に含まれる牛乳の量の200cc換算本数をもつて記入する。

なお、供給量の総合計値については、備考欄にリツトル換算数量を(　)で記入する。